

眉山魅力アップ計画

平成26年3月

徳島市

目 次

1. 背景と目的	1
2. 計画策定の視点と目標年次	2
3. 現状と課題	3
4. 眉山及びシンボルゾーンの魅力アップに向けた基本方針	6
5. アクションプラン	13
6. リーディング・プロジェクト	19

1

背景と目的

「眉山」は、古くから多くの市民に親しまれている徳島市のシンボルといえる山であり、本市有数の観光資源です。

しかし、観光客等が山頂を訪れても、長時間滞在できる環境に乏しいことなどの要因によって、眉山ロープウェイの利用客数は伸び悩んでおり、十分な集客に至っていないのも実状です。

一方、眉山からＪＲ徳島駅前までの区域においても、普段の歩行者通行量は多くなく、近年における周辺の商業情勢等からみても、その活性化は喫緊の課題になっています。

このことから、眉山からＪＲ徳島駅前までの直線的区域をこの計画の「シンボルゾーン」として位置づけ、「眉山及びシンボルゾーン」のさらなる魅力向上と区域内のにぎわい創出を図るため、観光振興を主眼に置いた総合的な計画「眉山魅力アップ計画」を策定するものです。

なお、本計画は、上位計画である「第４次徳島市総合計画」の将来像を実現する計画として位置づけます。

図 シンボルゾーンの区域



第４次徳島市総合計画「心おどる水都・とくしま」

眉山魅力アップ計画

2

計画策定の視点と目標年次

1 計画策定の視点

次の5つの視点に留意して、本計画を策定しました。

視点①「観光振興」に主眼を置いた計画であること

視点②観光客の誘致だけでなく、“市民”のニーズも踏まえた計画であること

視点③取り組みの段階（短期：概ね3年未満、中期：3～5年程度、長期：5年～10年）と目標指標を明らかにした計画であること

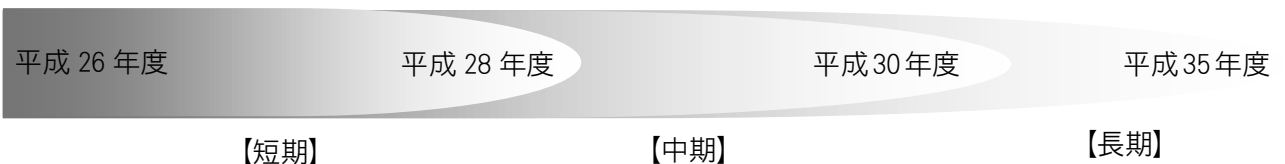
視点④戦略的に取り組む事業を「リーディング・プロジェクト」として位置づけた計画であること

視点⑤事業の継続的な実施に向けた組織づくりも位置づけた計画であること

2 目標年次

上記の視点③を踏まえ、本計画の目標年次は5年後の平成30年度に設定します。

なお、長期に実現すべき内容については、この5年間でその準備（調査・検討・調整）に着手するものと位置づけます。



3 目標指標

代表的な指標として以下の4つを位置づけ、本計画に取り組むことにより、平成35年に達成すべき目標値を設定します。

代表的な指標	現状	平成35年度	備考
徳島市内の観光入込客数	212.4万人	240.0万人	平成24年度
眉山ロープウェイ利用者数	17.8万人	21.0万人	平成24年度
眉山を「年に1回以上」訪れる市民の割合	21.2%	30.0%	平成25年市民アンケート
眉山の認知度（関西）	43.8%	55.0%	平成22年関西圏消費者アンケート

3

現状と課題

本計画を策定するにあたって実施した各種調査（市民アンケート調査、関係団体ヒアリング調査、ロープウェイ利用者アンケート等）や策定委員会での議論の結果、統計資料等から、眉山・シンボルゾーンに関する現状と課題について、次のように整理します。

1 「眉山」の現状と課題

(1) 眉山を徳島の観光資源として十分に活用しきれていない

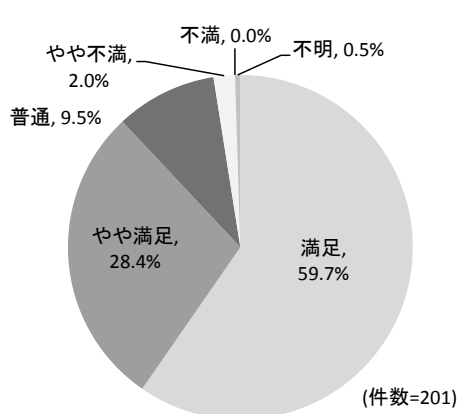
- ・映画「眉山」の上映があった平成19年には、年間のロープウェイ利用者数は飛躍的に増加しましたが、その後は年間18万人前後で推移し、総数では伸び悩んでいます。

(2) 市民にとって身近な自然として感じられる「普段づかい」の場所として眉山を活用できていない

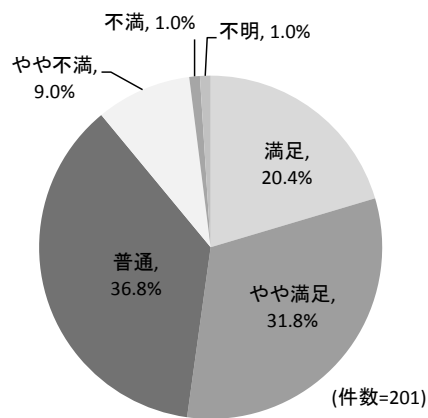
- ・眉山でウォーキングやハイキングを楽しむ市民が相当数存在する一方で、山麓から山頂までは私有地が多いこともあり、パンフレット等によるルート案内は積極的にできていない状況です。
- ・一方で、市民アンケート調査によると、眉山を訪れる頻度について、「これまでに何回か行った程度」という市民が3分の2を占めており、市民が「普段づかい」の場所として眉山を十分に利用していない状況です。

(3) 眉山山頂の魅力が不足している

- ・ロープウェイ利用者アンケート調査によると、眉山山頂からの「昼景展望」目的が7割を占め、また、景色に対する満足度は8割と高い数字を示しています。
- ・一方で、山頂での過ごし方への満足度は、景色やロープウェイ利用の評価に比べて低い評価が多い結果となっています。
- ・山頂展望休憩施設が十分に利用できていないことや、現在モラエス館として利用しているロープウェイの旧山頂駅舎の老朽化・モラエスに対する若者の関心が低いことなど、眉山山頂の魅力が不足している点について多くの指摘がありました。また、山頂施設の整備だけでなく登山ルート上の仕掛けについても必要性を指摘されています。
- ・眉山からの「夜景」については、眺めが素晴らしいとの評価がありますが、他の観光山の夜景と比べてわざわざ訪れてもらうためには、眉山ならではの物語や特色を打ち出すことが必要です。



眉山に対する満足度（景色）



眉山に対する満足度（山頂での過ごし方）

資料：ロープウェイ利用者アンケート調査

(4) 県外客への情報発信が十分ではない

- ・平成 25 年に実施したロープウェイ利用者アンケート調査によると、8 割が県外客であり、また、9 割は初めての来訪者であることから、主要観光スポットの一つとして認識されています。
- ・一方で、関西在住の消費者による眉山の認知度は 4 割に留まっています。このことから、県外への情報発信力が弱く、メディアを十分に活用できていないという課題が指摘されています。

2 「シンボルゾーン」の現状と課題

(1) シンボルゾーン沿道の魅力が不足している

- ・シンボルゾーン沿道では、一部新規出店はあるものの空き床・空き店舗が多く、人通りもまばらであり、にぎわいが不足しています。シャッターが閉まっている店が多いのであまり歩きたい印象を与えていないという指摘もあります。
- ・商業統計調査によると、シンボルゾーンを含む、内町と新町の商店数、年間商品販売額は過去 15 年間で著しく減少してきています。
- ・現在は、新町西地区市街地再開発事業が進行中であり、拠点となる川の駅も含めて賑わいの拠点になることが望まれるところです。

(2) 駅から眉山までの案内が不十分である

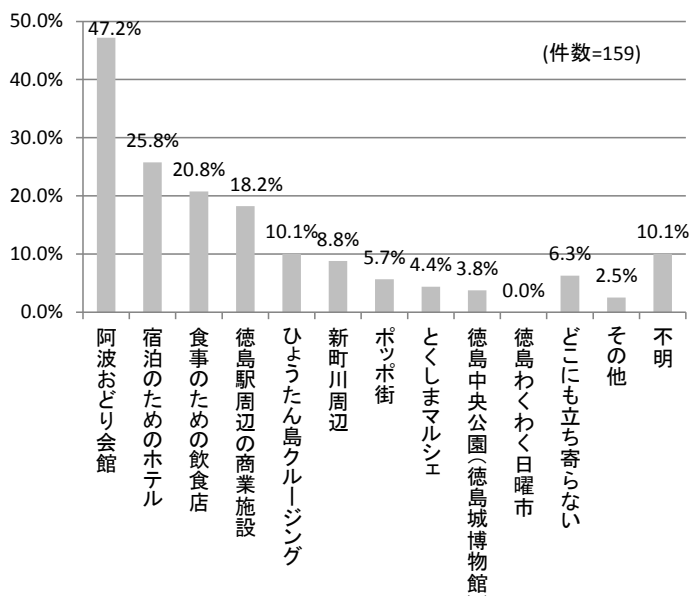
- ・JR 徳島駅から眉山までの案内表示について、交差点などの主なポイントに案内表示は設置されていますが、よりわかりやすい案内表示の工夫や、初めて駅前に降り立った観光客等に対する案内のわかりやすさなどが求められます。



3 「眉山・シンボルゾーン全体」の現状と課題

(1) まちなか回遊のための阿波おどり会館の観光拠点性が不足している

- ・ ロープウェイ利用者アンケート調査によると、ロープウェイ利用客のうち、シンボルゾーンで利用が多いのは山麓駅と同じ建物の「阿波おどり会館」でした。自家用車による来訪者が多いため、阿波おどり会館まで車で来て眉山だけ登って帰るといったパターンが多いのではないかと推測されます。
- ・ 阿波おどり会館は、ロープウェイ山麓駅があるほか、阿波おどりミュージアムや阿波おどりの公演が行われるホールがあり、1階には徳島県物産観光交流プラザ「あるでよ徳島」が入居して、多くの観光客が利用しています。また、1Fの情報案内コーナーでは県内の観光情報も入手できるようになっています。
- ・ 阿波おどり会館の機能をさらに充実させ、市内まち歩きやまちなか飲食案内などの情報発信基地にすることが必要です。



資料：ロープウェイ利用者アンケート調査

(2) 既存の様々なハード・ソフト両面の観光資源とのネットワーク化や連携が不足している

- ・ 徳島市の中心市街地では、徳島市各課や経済団体、市民団体による様々な集客イベントや賑わい創出活動が進行しています。
- ・ また、平成18年度からは、とくしま観光ガイドボランティア会によるまち歩きガイドツアー、平成23年度からは、NPO法人徳島ツーリズム協会によるレンタサイクルやバスを利用した着地型ツアーも取り組まれはじめています。
- ・ NPO法人新町川を守る会により運行されているひょうたん島クルーズをはじめ、新町川ボードウォークでのとくしまマルシェ、徳島わくわく日曜市、LEDライトアップなど新町川を中心に多様な活動が展開されていますが、現状では、シンボルゾーンにまで波及していません。

4

眉山及びシンボルゾーンの魅力アップに向けた基本方針

「眉山・シンボルゾーン」に関する課題については前述のようなことが挙げられますが、一方で、「阿波おどり」や「水都」とともに、徳島市の観光振興をリードする大きな可能性を有しています。

以下のような強みを伸ばし、「眉山・シンボルゾーン」を一体的にとらえ、魅力アップを図っていくことが重要です。

1 観光振興における「眉山」及び「シンボルゾーン」の強み

	都市構造的視点	市民意識的視点
眉山	<ul style="list-style-type: none"> ●大切に保全・活用すべき景観資源 ●全国的にも稀少なまちなかの山と市街地を結ぶロープウェイ ●市街地を望む眺望のポイント ●シンボルゾーンの結びのポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ●眉山が見えると「ホッ」とする心のよりどころ ●遠足などで必ず一度は行ったことのある思い出の場所 ●市街地内の身近な自然資源としてのまとまりのある緑
シンボルゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ●駅・新町川沿い・阿波おどり会館・眉山山頂と観光資源を結ぶ重要な軸線 ●様々な取組みが行われている新町川とクロスする重要な軸線 ●「(仮称)音楽・芸術ホール」や「拠点となる川の駅」の建設が予定されているなど、新しいまちの拠点への期待 	<ul style="list-style-type: none"> ●(以前は)買い物などに遠くからも訪れていたハレ^(注)の場 ●阿波おどりの期間は、「にわか連」の会場として、観光客と一体となって踊れる舞台 ●市街地内で身近に水や緑を感じることができる ●鉄道やバスなど市内、市外への公共交通の結節点

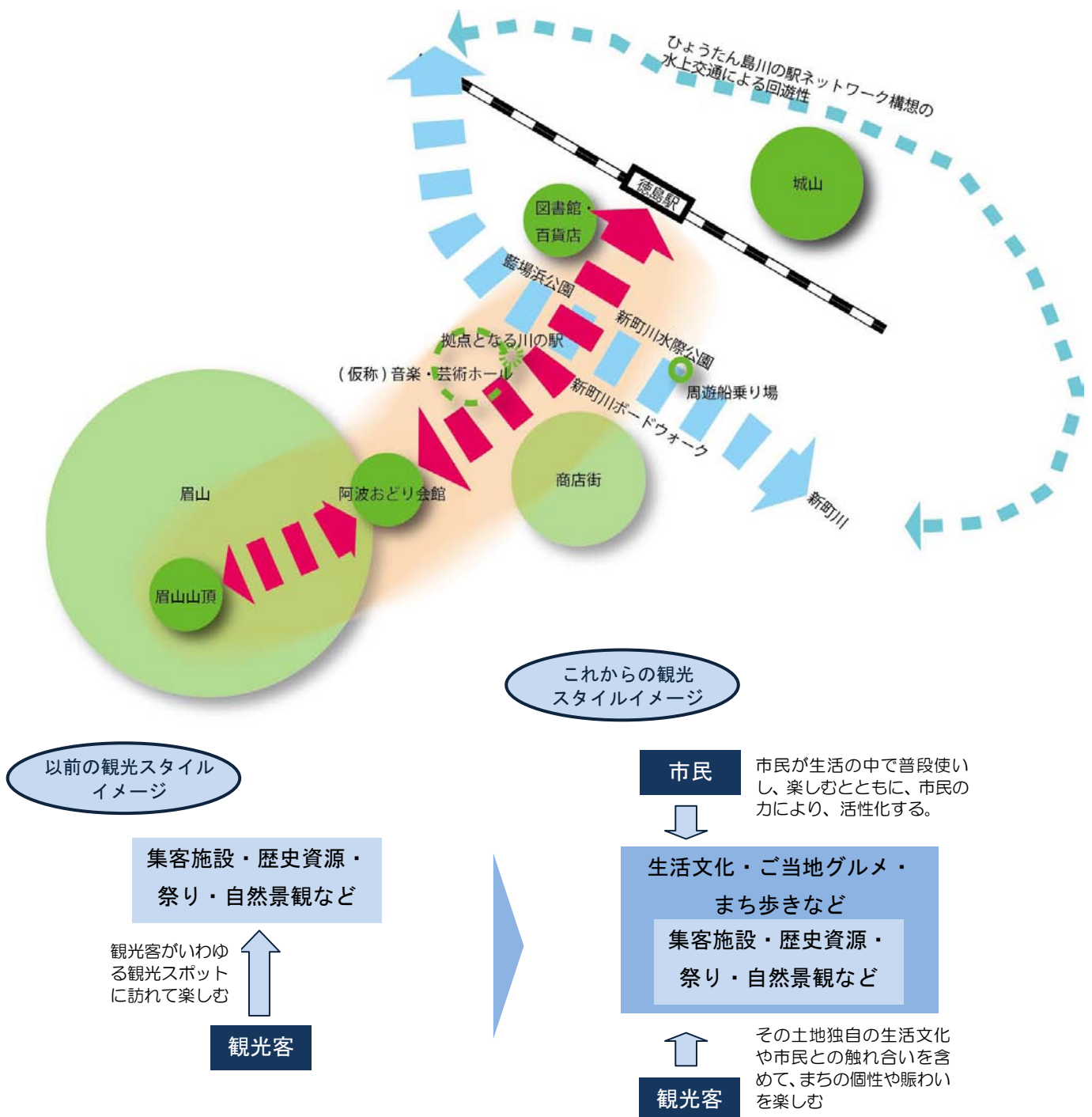
(注)「ハレ」：民俗学や文化人類学において「ハレとケ」という場合、ハレは儀礼や祭、年中行事などの「非日常」を表す。ハレの語源は「晴れ」であり、「晴れの舞台」、「晴れ着」などの言い回しでも使用される。

2 眉山・シンボルゾーンの一体的魅力アップのイメージ

「眉山・シンボルゾーン」の一体的な魅力アップを図ることによって、徳島のまちなか全体の活性化及び観光振興に資する軸が生まれることをめざします。

特に、観光客だけでなく、徳島市民にとっても愛され、活用される「眉山・シンボルゾーン」とすることをめざした取り組みを展開することにより、普段からのにぎわい形成と眉山・シンボルゾーンならではの個性を磨き、多くの人々が訪れるエリアとして魅力アップを図ります。

眉山・シンボルゾーンの魅力アップイメージ図



3 眉山・シンボルゾーンの魅力アップの基本方針

ここでは、「眉山・シンボルゾーン」の魅力アップを図っていくために、4つの基本方針を掲げます。

基本方針1では「眉山」、基本方針2では「シンボルゾーン」に特化した魅力づくりを柱とし、基本方針3と4では「眉山・シンボルゾーン」を一体とした魅力づくりに向けて、市民が参画して活性化に取り組んでいくことを掲げます。

基本方針1

- 徳島市を代表する観光資源の一つとして、眉山への集客に向けた魅力アップに取り組みます

基本方針2

- 新町川とクロスする重要な都市軸として、シンボルゾーンへの集客に向けた魅力アップに取り組みます

基本方針3

- 眉山山頂からJR徳島駅までのシンボルゾーン全体が連動し、相乗効果を高める取り組みを推進します

基本方針4

- 徳島市民のライフスタイルを豊かにする場として、眉山・シンボルゾーンへの市民の関与を高める取り組みを推進します

基本方針 1

- 徳島市を代表する観光資源の一つとして、眉山への集客に向けた魅力アップに取り組めます

① 「見る眉山」としての魅力アップを図ります

- ・眉山を徳島市の観光資源のシンボルとして、観光客や市民がその景観や山頂からの眺望の素晴らしさを認知するための取り組みを推進します。

② 「遊ぶ眉山」としての魅力アップを図ります

- ・眉山を徳島市の観光魅力の拠点として、観光客や市民が眉山でのイベントを楽しんだり、「ハレ」の日に訪れる場所となるような取り組みを推進します。

③ 「使う眉山」としての魅力アップを図ります

- ・ウォーキングや遠足、自然観察など、より多くの市民が普段から眉山を使って楽しむでもらえるような取り組みを推進します。また、眉山を愛する市民・事業者等により、眉山の美しい環境を守り・育てる取り組みを促進します。

基本方針 2

- 新町川とクロスする重要な都市軸として、シンボルゾーンへの集客に向けた魅力アップに取り組みます

① 徳島の市街地における重要な軸線として、魅力的な集客機能の仕掛けと定着に取り組みます

- ・シンボルゾーン及び周辺には既に「阿波おどり会館」「図書館」が立地しており、今後「(仮称) 音楽・芸術ホール」の整備も予定されています。今後も、徳島の市街地における重要な軸線として、イベントの実施等を推進します。

② 新町川や中心市街地で行われる多様な取組みとも連携して市街地全体の魅力アップに取り組みます

- ・「ひょうたん島博覧会」「川の駅ネットワーク構想」「新町西再開発（(仮称) 音楽・芸術ホール）」「マチ★アソビ」など、新町川や中心市街地で行われている（これから行われる）イベントやまちづくり事業などと連携し、市街地全体の魅力アップにつながる取組みを推進します。

基本方針 3

- 眉山山頂から J R 徳島駅までの シンボルゾーン全体が連動し、相乗効果を高める 取り組みを推進します

①シンボルゾーン全体の魅力アップにつながる「ストーリー性」や「コンセプト」を大切にした取り組みを進めます

- ・眉山山頂から J R 徳島駅までのシンボルゾーン全体の魅力アップにつながるように、それぞれに展開されるイベントやプロジェクトがバラバラに動くのではなく、一定のストーリー性やコンセプトを持って、一体感のある取り組みとして進めていきます。

②シンボルゾーン全体及び市街地全体における観光客の回遊性を高める取り組みを進めます

- ・徳島市における観光拠点となっている阿波おどり会館や J R 徳島駅を起点として、シンボルゾーンをはじめとする市街地や眉山山頂への観光客の回遊性を高めるため、案内や情報提供などに取り組みます。

基本方針 4

- 徳島市民のライフスタイルを豊かにする場として、眉山・シンボルゾーンへの市民の関与を高める取り組みを促進します

①市民の力や多様なネットワークにより、眉山・シンボルゾーンの魅力を高めるための主体的な取り組みを促進します


- ・多様な特技を持つ市民・事業者等の参画により、眉山やシンボルゾーンを舞台として繰り広げられる、市民主体のイベントなどの取り組みを促進します。
- ・イベント等の取り組みを実施する際には、市民・事業者・行政等が参画する実行委員会などの体制を整え、協働の取り組みとして盛り上げていきます。

5

アクションプラン

基本方針に基づき、今後取り組む具体的な 15 の事業を「アクションプラン」として位置づけます。

基本方針		アクションプラン名
基本方針 1 徳島市を代表する観光資源の一つとして、眉山への集客に向けた魅力アップに取り組めます	①「見る眉山」としての魅力アップを図ります。	1 眉山の景色を活かしたアート作品の展示・体験活動の促進
		2 ロープウェイの車窓から花を楽しめるような眉山の整備
	②「遊ぶ眉山」としての魅力アップを図ります	3 「食」に関するイベントや体験活動のできる環境整備とイベント実施
		4 眉山山頂広場周辺の環境整備
		5 旧山頂駅舎の再生【リーディング・プロジェクト1】
	③「使う眉山」としての魅力アップを図ります	6 展望休憩施設の活用【リーディング・プロジェクト2】
		7 登山ルート周辺の環境整備
		8 眉山の自然を楽しめるハイキングツアーの実施

1 眉山の景色を活かしたアート作品の展示・体験活動の促進	【実施主体】 市民団体	【事業期間】 中期
【事業概要】 LED アートフェスティバルなどに、眉山のある風景や山頂からの景色を活かしたアート作品を国内外から募集して展示したり、市民が気軽にアートを体験できる活動などの企画に取り組めます。		 LED アートフェスティバル作品例 【眉山会場】 Emitting Scratch/Fog/川口怜子

2 ロープウェイの車窓から花を楽しめるような眉山の整備	【実施主体】 観光協会、市	【事業期間】 長期
【事業概要】 車窓から四季折々の花を楽しめるように、ロープウェイのワイヤーロープ下において植樹活動に取り組めます。		


<p>3 「食」に関するイベントや体験活動のできる環境整備とイベント実施</p>	<p>【実施主体】 環境整備：観光協会、市 イベント実施：観光協会、 経済団体、市民団体</p>	<p>【事業期間】 中期</p>
<p>【事業概要】 眉山山頂広場で、食イベントや体験活動を実施しやすくするための衛生設備環境を整備するとともに、保健所の許認可を得やすくするための働きかけを行います。 山頂広場などでのイベントにおいて、徳島ならではの食を提供する企画に取り組みます。</p>		


<p>4 眉山山頂広場周辺の環境整備</p>	<p>【実施主体】 市</p>	<p>【事業期間】 中期</p>
<p>【事業概要】 眉山山頂広場周辺を多くの方が気軽に利用できるよう、利便性向上のための環境整備に取り組みます。</p>		



<p>5 旧山頂駅舎の再生</p> <p>【リーディング・プロジェクト1】</p>	<p>【実施主体】 市、観光協会</p>	<p>【事業期間】 短期</p>
<p>【事業概要】</p> <p>現在モラエス館として利用されているロープウェイの旧山頂駅舎については老朽化が進んでいることから、建替えにより、魅力ある観光施設としての再生を図ります。建替えにあたっては、モラエス展示のあり方も含め、集客施設としての機能の充実を図るとともに、多くの市民が利用するとともに運営にも関わる仕組みづくりに取り組みます。</p>		
		
<p>旧山頂駅舎</p>		
<p>6 展望休憩施設の活用</p> <p>【リーディング・プロジェクト2】</p>	<p>【実施主体】 市、観光協会</p>	<p>【事業期間】 短期</p>
<p>【事業概要】</p> <p>現在、2階を無料展望台としている展望休憩施設について、その活用方法の見直しを行い、山頂の集客拠点として展望休憩施設の活用促進を図ります。</p>		
		
<p>眉山山頂展望休憩施設</p>		
<p>7 登山ルート環境整備</p>	<p>【実施主体】 市民団体、観光協会、市</p>	<p>【事業期間】 中期</p>
<p>【事業概要】</p> <p>安全で楽しく眉山の山登りを楽しむことができるように、利用者の意見を伺い、利用者と協力しながら、登山道の環境整備に取り組みます。</p> <p>また、登山道の管理にあたっては、市民との協働で取り組むこととし、市民ボランティアによる活動を支援します。</p>		
<p>8 眉山の自然を楽しむハイキングツアーの実施</p>	<p>【実施主体】 観光協会</p>	<p>【事業期間】 短期</p>
<p>【事業概要】</p> <p>バードウォッチングや眉山にあるミニ八十八カ所めぐりなど、眉山の自然を楽しむハイキングツアーを実施します。</p>		
		
<p>眉山再発見ウォーキング大会</p>		

基本方針	アクションプラン名	
基本方針 2 様々なイベントや取り組みが進む新町川とクロスする都市軸として、シンボルゾーンへの集客に向けた魅力アップに取り組みます	①徳島の市街地における重要な軸線として、魅力的な集客機能の仕掛けと定着に取り組みます	9 シンボルゾーンを歩行者天国にしたオープンカフェ【リーディング・プロジェクト3】
		10 地域の名前に由来する仕掛けづくり（案内整備や体験）
	②新町川や中心市街地で行われる多様な取組みと連携して市街地全体の魅力アップに取り組みます	11 イベント等の実施における市街地全体の情報発信や、特に「食」に関する情報提供のできる媒体の整備

9 シンボルゾーンを歩行者天国にしたオープンカフェ 【リーディング・プロジェクト3】	【実施主体】 市民団体	【事業期間】 中期
【事業概要】 シンボルゾーンの歩道や車道を活用して、オープンカフェや手作り市などまちなかを楽しむイベントを実行委員会形式で企画・開催します。将来的にはシンボルゾーン沿道における出店のきっかけとなることを期待します。		
		 オープンカフェ（イメージ）

10 地域の名前に由来する仕掛けづくり（案内整備や体験）	【実施主体】 市、商店街	【事業期間】 長期
【事業概要】 観光客がまち歩きをする際に楽しめる仕掛けとして、シンボルゾーン周辺の地名（藍場浜、新町など）を紹介する案内表示の整備や、例えば「藍染め」に関する体験ができる場所の提供など、シンボルゾーン沿道を楽しむ工夫について取り組みます。		
		 藍染め

11 イベント等の実施における市街地全体の情報発信や、特に「食」に関する情報提供のできる媒体の整備	【実施主体】 観光協会、商店街、経済団体	【事業期間】 短期
【事業概要】 眉山やシンボルゾーンを含む中心市街地のイベントについて、関係機関と連携して情報を集約し、観光協会のホームページで一括して紹介できるように取り組みます。また、中心市街地で楽しめる飲食店の情報発信に取り組みます。		

基本方針	アクションプラン名	
基本方針 3 眉山山頂からJR徳島駅までのシンボルゾーン全体が連動し、相乗効果を高める取り組みを推進します	①シンボルゾーン全体の魅力アップにつながる「ストーリー性」や「コンセプト」を大切にした取り組みを進めます	12 山頂広場からシンボルゾーンを一体的に楽しむことのできる、アニメ・アート・音楽・踊り・食などをテーマとしたイベントの開催
	②シンボルゾーン全体及び市街地全体における観光客の回遊性を高める取り組みを進めます	13 阿波おどり会館内での「まちなか観光案内」の充実
		14 JR徳島駅～阿波おどり会館までのわかりやすいルート案内の充実

12 山頂広場からシンボルゾーンを一体的に楽しむことのできる、アニメ・アート・音楽・踊り・食などをテーマとしたイベントの開催	【実施主体】 経済団体、商店街 観光協会	【事業期間】 中期
【事業概要】 山頂広場からシンボルゾーンにかけたエリア全体を舞台としたアニメイベントの推進や、LED アート、野外音楽イベント、踊りなどを楽しむイベントの開催を検討します。 また、同様に「まちなかバル ^(注) 」や「グルメツアー」などの徳島ならではの食を楽しむ取り組みを検討します。 <small>(注)「まちなかバル」：2004年に函館で始まり、2009年から関西を中心に全国的な広がりを見せる、まち回遊型の食イベント。スペインの「バル（英語のBar；地域の交流の場にもなっている居酒屋、軽食喫茶店）」から名付けられ、参加者はチケットを利用して複数の飲食店で1ドリンクと特別メニューを楽しむ仕組み。</small>		

13 阿波おどり会館内での「まちなか観光案内」の充実	【実施主体】 市、指定管理者	【事業期間】 短期
【事業概要】 阿波おどり会館の1階情報案内コーナーを充実して、まちなか観光案内を積極的に展開します。		

14 JR徳島駅～阿波おどり会館までのわかりやすいルート案内の充実	【実施主体】 市	【事業期間】 短期
【事業概要】 JR徳島駅前や、駅から阿波おどり会館までのルート上に、わかりやすい案内看板等を整備します。		

基本方針	アクションプラン名	
<p>基本方針 4</p> <p>徳島市民のライフスタイルを豊かにする場として、眉山・シンボルゾーンへの市民の関与を高める取り組みを促進します</p>	<p>①市民の力や多様なネットワークにより、眉山・シンボルゾーンの魅力を高めるための主体的な取り組みを促進します</p>	<p>15 市民主体のイベント等に取り組むためのプラットフォーム（情報共有や事業創出・事業実行のための場）の設置</p>

<p>15 市民主体のイベント等に取り組むためのプラットフォーム（情報共有や事業創出・事業実行のための場）の設置</p>	<p>【実施主体】 市、市民団体</p>	<p>【事業期間】 中期</p>
<p>【事業概要】</p> <p>各団体の取組内容について情報共有を進めるとともに、新たな賑わい事業を生み出すためのプラットフォームを設置します。</p> <p>まずは、「シンボルゾーン・オープンカフェプロジェクト」を題材に、関係団体等の集まる場を作り、社会実験的に事業に取り組むことからスタートし、イベント実施だけでなく、公共空間の活用を担えるエリアマネジメント組織を段階的に整備していきます。</p>		

6

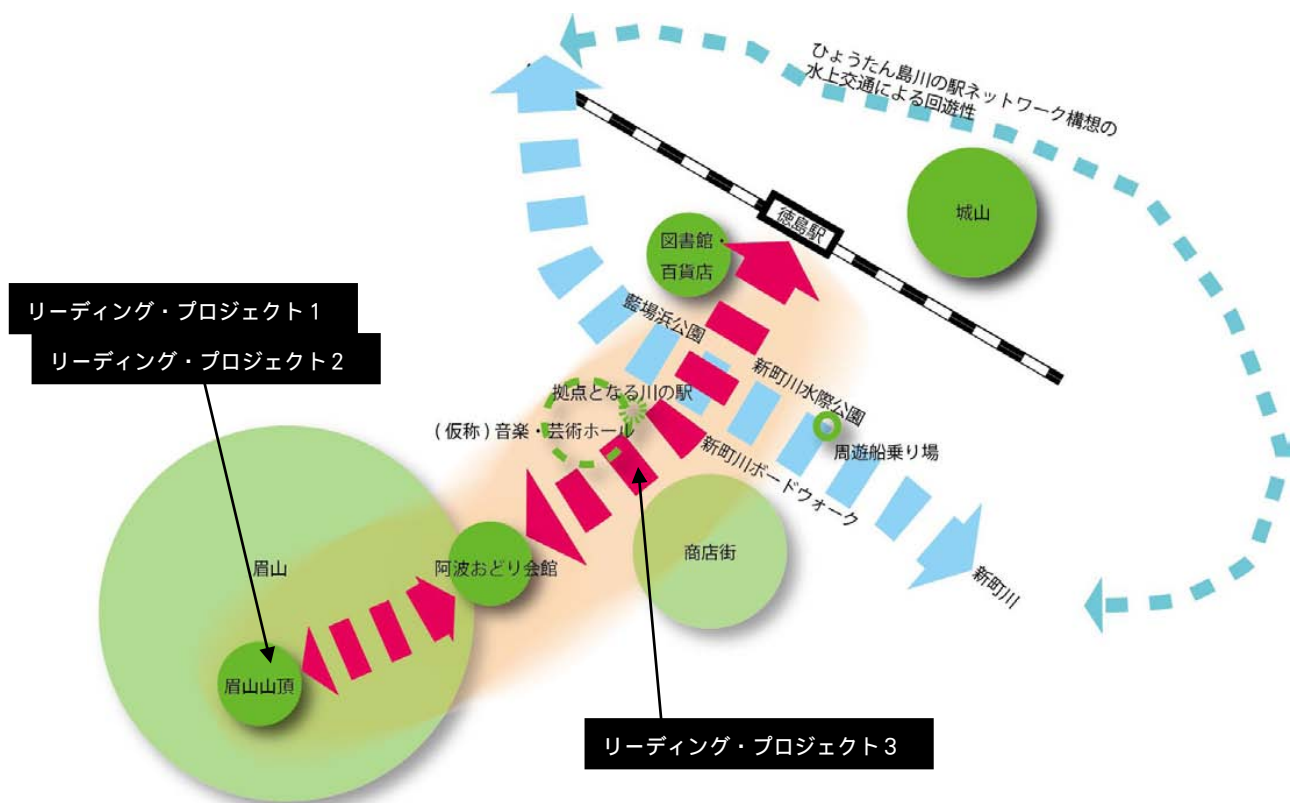
リーディング・プロジェクト

アクションプランのうち、徳島市が中心になって戦略的に取り組む事業を「リーディング・プロジェクト」として位置づけ、実行していきます。

リーディング・プロジェクト1 旧山頂駅舎再生プロジェクト

リーディング・プロジェクト2 展望休憩施設活用プロジェクト

リーディング・プロジェクト3 シンボルゾーン・オープンカフェプロジェクト



山頂の魅力アップをリードする


- 山頂施設の再生・魅力アップを行うリーディング・プロジェクトの推進により、観光客の集客及び市民の普段使いの機会を増やし、山頂での時間を楽しむことのできる空間と仕掛けづくりをすることで、山頂全体の魅力アップをめざします。

シンボルゾーンの魅力アップと回遊性の向上をリードする

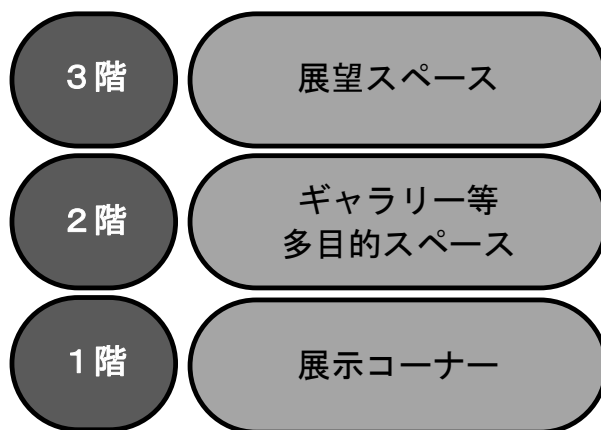
- 徳島駅と眉山を結ぶシンボルゾーンの魅力アップを図るため、まずは沿道のにぎわいと回遊性をつくる社会実験として、オープンカフェの実施に取り組みます。

市民の関わりや利用を促すための環境・仕組みづくりをリードする

- 山頂施設の再生やシンボルゾーンでの社会実験において、市民自身が主体的に企画・実施するための環境整備や仕組みをつくることから、徳島市の観光やエリアマネジメントを市民主体で行う体制づくりをめざします。


プロジェクト名	取り組みイメージ	実行の手順
<p>プロジェクト1</p> <p>旧山頂駅舎再生プロジェクト</p> 	<p>山頂の集客拠点として、旧山頂駅舎を建替えし、機能の充実または見直しに取り組みます。</p> <p>建替えにあたっては、モラエス展示のあり方も含め、旧山頂駅舎の立地環境を踏まえて、観光・集客の視点からその機能を見直し、効果的な集客につながる魅力的な施設機能の導入を図ります。</p> <p>また、多くの市民や観光客に利用してもらい、山頂のにぎわいを形成することをめざし、多くの市民が利用するとともに運営にも関わる仕組みづくりに取り組みます。</p>	<p>ステップ1</p> <p>基本計画及び実施設計、運営・活用方策の検討</p> <p>ステップ2</p> <p>整備、竣工、運営</p>

旧山頂駅舎の再生による機能構成イメージ（案）



※この機能構成イメージは今後の検討により変更される可能性があります。

プロジェクト名	取り組みイメージ	実行の手順
<p data-bbox="188 320 451 360">プロジェクト2</p> <p data-bbox="188 427 451 517">展望休憩施設活用プロジェクト</p> 	<p data-bbox="488 327 991 412">山頂の集客拠点として展望休憩施設の活用促進を図ります。</p> <p data-bbox="488 434 1015 573">既存の展望休憩施設を改修し、山頂来訪者が昼夜とも気軽に眺望を楽しめる施設として機能強化を図ります。</p> <p data-bbox="488 595 1015 734">特に、夜景を楽しむことができる空間作りに努め、多くの市民や観光客に利用してもらえる活用のあり方を検討します。</p>  <p data-bbox="536 1151 983 1178">眉山山頂 クリスマスイルミネーションの様子</p>  <p data-bbox="644 1632 884 1659">展望休憩施設内部の状況</p>	<p data-bbox="1046 327 1190 360">ステップ1</p> <p data-bbox="1046 383 1398 468">改修の基本計画及び実施設計、運営・活用方策の検討</p> <p data-bbox="1046 512 1190 546">ステップ2</p> <p data-bbox="1046 568 1334 602">改修整備、竣工、運営</p>

プロジェクト名	取り組みイメージ	実行の手順
<p>プロジェクト3</p> <p>シンボルゾーン・オープンカフェプロジェクト</p> 	<p>シンボルゾーンを活用したオープンカフェを実行委員会形式で企画・開催します。</p> <p>シンボルゾーンの歩道や車道部分の道路占用により、オープンカフェ、市民の参画によるフリーマーケット・手作り市などを企画します。</p>	<p>ステップ1</p> <p>保健所等との協議など実施条件の整理</p> <p>呼びかけ人の募集</p> <p>実行委員会準備会の開催</p> <p>ステップ2</p> <p>実行委員会の検討、各種調整</p> <p>ステップ3</p> <p>オープンカフェ実施、検証</p>

